

## スミソニアン航空宇宙博物館におけるエノラ・ゲイの展示 (ワシントン D. C.)

ニューヨーク事務所

エノラ・ゲイ (Enola Gay) とは、太平洋戦争末期にアメリカ空軍で使用された B-29 爆撃機の機名であり、1945 年 8 月 6 日午前 8 時 15 分に広島市に原子爆弾「リトルボーイ」を投下したことで世界的に知られています。現在は、ワシントン D.C.にあるスミソニアン航空宇宙博物館別館において常設展示されています。

### 1 展示までの経緯について

戦争終結後、その歴史的背景を鑑みてエノラ・ゲイは機体保存が決定され、メリーランド州アンドルーズ空軍基地において解体保存されていました。その後、1995 年にスミソニアン航空博物館において、原爆被害や歴史的背景も含めたエノラ・ゲイの特別展示が計画されました。この展示は、原爆被害についても展示することで原爆が人々に与えた苦しみを示し、原爆投下の意味を改めて見直すという目的のもとで計画されたものであり、広島市側も被爆資料の提供などの協力を行う予定でした。しかしながら、計画が公にされると全米退役軍人協会などを中心に強い抗議の声が上がり、中止への圧力がかけられました。その結果、一応展示は行われましたが、原爆被害やその歴史的背景には一切触れられることなく、当時の広島市長曰く「事実上の中止」となりました。また、この一連の騒動の責任を取って当時のスミソニアン航空博物館館長は辞職に追い込まれています。

なお、実現されなかったこの特別展のかわりに、広島市は同 1995 年にワシントン D.C.のアメリカン大学において原爆展を実施しました。この原爆展はその後、広島市と長崎市共催の「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」として継承され、核保有国や核保有疑惑国、または核廃絶に熱心に取り組んでいる国などを中心に、現地の自治体や非営利団体、大学などと連携して、毎年海外の 1、2 都市で開催されています。この原爆展は、原爆写真パネル・被爆資料等の展示や各種映画の上映、被爆者本人による被爆体験証言を通し、被爆の実相を人々に伝え、核兵器廃絶への機運を高めることを目的としているものです。

その後 2003 年 12 月 15 日、スミソニアン航空宇宙博物館別館であるスティーブソン・F・ウドヴァーハイザー・センターの開館に合わせ、エノラ・ゲイは同別館に常設展示されることとなりました。常設展示にあたり、広島市からはスミソニアン側に対し、「単に航空機の科学技術の進歩を示す」だけではなく、あるいは「原爆の威力の誇示や原爆投下の正当性を示す」ものにすることなく、原爆被害の説明を加えることで「核兵器廃絶と世界恒久平和を願う」内容にしていたただくよう、要望を行っています。

(参照: 広島市 HP 「エノラ・ゲイの展示における原爆被害の説明についての要望(2003 年 10 月 16 日)」)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1111564877312/index.html>

## 2 スミソニアン航空宇宙博物館訪問

今回、当事務所職員及び関係機関職員を対象とした「米国地方行政セミナー」としてワシントン D.C. を訪問する中、スミソニアン航空宇宙博物館別館スティーブン・F・ウドヴァーハイジー・センターを訪れる機会を得ることができました。

同館はワシントン D.C. 中心部から車でおよそ 1 時間ほどの郊外に位置しています。入館後、ウェルカムセンターにおいてエノラ・ゲイの展示場所を尋ねたところ、日本のどこから来たのか質問されました。広島から、と答えると、「それは必ず見なければならない。」と言われ、経路について詳細に説明してくれました。

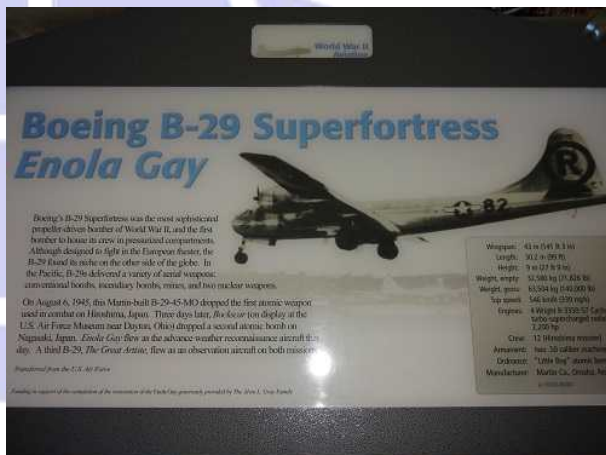
エノラ・ゲイは、別館のほぼ中心部、第二次世界大戦期の航空機のコーナーに展示されていました。銀色の大きなその機体は、他の展示物の中でもとりわけ目を引くものでした。広島にあれだけの惨劇をもたらした機体そのものが、今自分の目の前にあるという事実は、非常に奇妙な感覚をもたらしました。

機体の説明書きには、1945 年 8 月 6 日、広島に世界初の原子爆弾を投下したこと、そして 3 日後、長崎市に二発目の原子爆弾が投下される際には偵察機として利用されたことのみが記載されていました。また、ガイドによる説明ツアーにも参加しましたが、エノラ・ゲイについては技術的な説明に終始していました。もっとも、これについてはツアー参加者の大半が我々日本人であったためかもしれません。

周辺にはその他、第二次世界大戦期に使用された軍用機が展示されていました。中でも、第二次世界大戦末期に日本で特攻機として使用された「桜花」については、エノラ・ゲイ同様その歴史的背景の重さにひどく心を打たれるものでした。



展示されているエノラ・ゲイ



説明プレート

### 3 所感

エノラ・ゲイの展示方法については、前述のとおり広島市として公式に要望を行いました。結果として技術的な、最小限の説明に終始しています。しかしながら一方で、一部にある「戦争終結を早めた」旨の説明が公式にはなされていないことに安堵を覚えました。様々な意見はありますが、一般の目に触れる場所にきちんと展示してあること、そして各々がその歴史的背景について考える機会を与えていることについては、一定の評価が与えられるべきものだと感じました。



スティーブン・F・ウドヴァーヘイジー・センター外観

(藤井所長補佐 広島市派遣)

